



北方領土

福島県民会議通信

令和7年3月（第17号）

発行元：北方領土返還要求運動福島県民会議



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深め、北方領土の早期返還を実現させましょう！

北方領土青少年等現地視察事業参加生徒による報告会の開催 【令和6年7月23日】

キョウワグループ・テルサホールで、令和5年度現地視察事業に参加した学法石川高校1年生5名による報告会を開催しました。報告会では、それぞれが現地で見て聞いて体験して、感じたことや考えたことを発表してくれました。また、スマートフォンを使ったクイズやAIで描いた現地の様子など、視察の報告とはまた別に、出席者の興味を引く工夫も凝らされており、出席者からは、「これからを担う高校生からの発表が、実践を伴う素晴らしいものだった。体験して、その振り返りをするのは大切だと思った。」「実際に訪問した高校生の生の声を聞けて良かった。」「すごく勉強になった。高校生の若い考え方、感じ方を素直に聞くことができて良かった」等、高校生の若い力があふれる非常に充実した報告会となりました。

報告の概要（1／2）



野付半島から国後島を肉眼で見ることができ、とてもいい経験になった。ネイチャーセンターの職員から、近くて遠い島であると教えてもらったが、国後島について話す時の職員の切ない表情や言葉が忘れられない。行くことはできないが肉眼で見ることができる近さゆえに、取り戻せない悔しい気持ちがより一層感じられた。



R5 四島のかけ橋（根室市）



R5 船で野付半島を目指す



R5 野付半島



北方領土を身近に感じたことで領土問題がどれだけ重大な問題なのかさらに実感がわき、元島民の方が一日でも早く自分の島に帰れるよう、この問題が解決してほしいととても強く感じた。

報告の概要（2／2）

 野付半島では、野生のアザラシを見ることができた。アザラシから興味を持ってもらい、北方領土について多くの人に知ってもらうのも一つの手段と思う。



R 6 報告会の様子

 元島民2世の方から「赤い人間」という言葉を聞いた。これは共産主義者という意味で、北方領土から追い出され、日本に着いたら同じ日本人から差別を受けたという、とてもつらい話だった。昔は日本人とロシア人との間には個人レベルの友好関係が築かれていたが、今は国家間の問題により交流の再開は容易ではない。家族の墓参りができないなど、どれほど悲しいことかと思う。領土問題は各々の人生に大きな影響を与えていると感じた。



R 6 グループ懇談会



学法石川高校のみなさん

 ポー川史跡自然公園で歴史を学び、会津藩士と北海道、アイヌとの関わりを知った。アイヌと日本との相互理解という姿勢から、北方領土問題についても、より多くの人が納得できるかたちで和解できるよう願っている。



R 5 ポー川史跡自然公園（標津町）

 北海道の方々は北方領土の返還を強く願っており、今もなおその活動は続いているのだということを、インターネットで調べるだけでは感じることはできない熱として非常に感じた。



R 5 北方四島交流センター ニ・ホ・ロ（根室市）

令和6年度総会の開催【令和6年7月23日】

報告会と同日、総会を開催し、令和5年度の事業報告及び収支決算、令和6年度の事業計画及び収支予算について承認されました。

なお、総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、小林清美前会長が決議文を読み上げ、政府に対し、平和条約の早期締結に向けて更なる外交努力を尽くすよう求めると共に、県民会議として、引き続き粘り強く北方領土返還要求運動を展開していくことを満場一致で採択しました。

令和6年度北方領土問題対策協会表彰【令和6年4月12日】

北方領土返還要求運動の推進に顕著な功績があったとして、小林清美前会長が表彰されました。表彰式はTKP市ヶ谷カンファレンスセンターで、都道府県推進委員全国会議の後行われました。小林前会長は、福島県婦人団体連合会の構成員として、また会長として、返還運動啓発活動の実施や県民会議の返還運動方針の策定、事業の参加等、長年にわたり精力的に活動を行い、北方領土返還要求運動にご尽力いただきました。本県関係者の受賞は6人目となります。



表彰式の様子



令和6年度北方領土青少年交流のつどい【令和6年7月30～31日】

本事業は、北海道・東北の各道県の中学生が集まり、北方領土問題の早期解決に向けて、次代を担う青少年が理解と関心を深めることを目的とするもので、毎年持ち回りで開催しています。今年度は仙台市を会場として、ブロック幹事県の北方領土返還要求宮城県民会議が中心となり開催されました。本県からは、玉川村立玉川中学校3年の生徒2名及び教員1名が参加し、北方領土問題に関する知識を深めました。



模擬授業の様子



元島民後継者の講話



グループワーク



北方領土返還要求北海道・東北国民大会【令和6年8月23日】



大会決議

本大会は、北方領土問題の解決にかける国民の総意を明確に示し続けるため、北海道・東北六県が一体となり、確固とした意思のもとに粘り強く返還要求運動を推進し、政府の外交交渉を強力に支援していく決意を新たにすることで、本県からは2名が出席しました。

北方領土問題教育委員会関係者現地研修会【令和6年9月25～27日】

この事業は、全国の教育委員会関係者を北海道根室市に招聘し、北方領土研修を通じて理解と関心を深め、教育者会議等と教育委員会との協力関係を構築し、学校教育現場における北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として実施されました。本県からは、高校教育課の職員1名が参加しました。



パネル展 i n 福島県会津自然の家【令和6年7月14日、10月6日】

福島県会津自然の家において令和6年度未来キッズ生き生き事業として開催された「里山開放デー（7月14日）」、「あったかふれあいまつり（10月6日）」において、パネル展を行いました。昨年度から引き続き、2度目の開催となります。パネル展示とあわせて、「エトピリカ～想いを紡ぐ島～」の上映やクイズラリーの実施、グッズの配布を行って理解と関心を深めていただきました。



里山開放デー



あったかふれあいまつり

令和6年度リーダー研修会 【令和6年10月16日】

福島県男女共生センターにおいて、福島県婦人団体連合会の主催で研修会が開催されました。福島県会津自然の家の武田光弘所長から、令和5年度現地視察事業に参加された経験をもとに講話をいただいた後、増子恵二事務局長が北方領土に関する質疑を受けました。また、クイズラリーを実施して、より詳しく北方領土について知っていただきました。



研修会の様子

北方領土返還要求中央アピール行動 【令和6年12月1日】

北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、都内でアピール行進が実施されました。全国各地から約100団体、総勢約500名の参加があり、日比谷公園野外大音楽堂を出発し、国民の総意の証である全国47都道府県旗を掲げながら行進しました。本県民会議からは5名が参加しました。



日比谷公園野外大音楽堂で出発式



中央アピール行動



令和7年北方領土返還要求全国大会 【令和7年2月7日】

本大会は、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。ニッショーホールで開催された本大会には、本県から8名が参加しました。



石破総理大臣ビデオメッセージ



パネルディスカッション

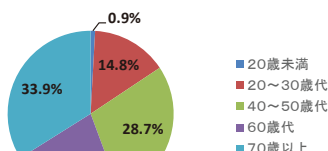
北方領土パネル展【令和7年2月4～14日】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて、コラッセふくしま（2月4～5日）、福島県庁（2月6～14日）において「北方領土パネル展」を開催しました。コラッセふくしまではクイズラリーを実施し、多くの来場者に御参加いただきました。参加された方からは、「福島も北方四島にゆかりがあることを知れてとても勉強になった。」「普段話題になることが少ないので、改めて考える機会になった。」等、多くの方に北方領土について知っていただく機会となりました。

来場者アンケート

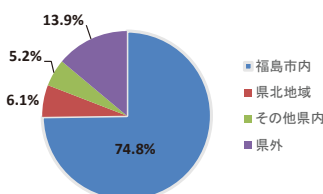
(1) 年齢

Q1		1日目	2日目	件数	割合
1	20歳未満	1	0	1	0.9
2	20～30歳代	9	8	17	14.8
3	40～50歳代	12	21	33	28.7
4	60歳代	12	13	25	21.7
5	70歳以上	20	19	39	33.9
	合計	54	61	115	100.0



(2) 住まい

Q2		1日目	2日目	件数	割合
1	福島市内	37	49	86	74.8
2	県北地域	4	3	7	6.1
3	その他県内	3	3	6	5.2
4	県外	10	6	16	13.9
	合計	54	61	115	100.0

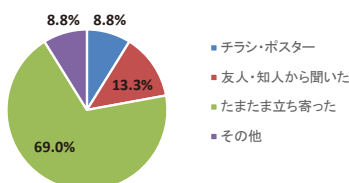


パネル展の様子

(3) パネル展を何で知りましたか？

Q3		1日目	2日目	件数	割合
1	チラシ・ポスター	6	4	10	8.8
2	友人・知人から聞いた	3	12	15	13.3
3	たまたま立ち寄った	41	37	78	69.0
4	その他	4	6	10	8.8
	合計	54	59	113	100.0

未記入：2日目2人

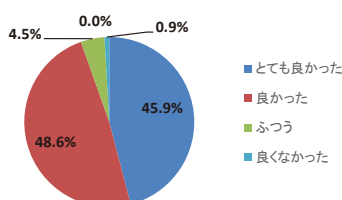


北方領土エリオくん

(4) パネル展の内容はどうでしたか？

Q4		1日目	2日目	件数	割合
1	とても良かった	24	27	51	45.9
2	良かった	26	28	54	48.6
3	ふつう	2	3	5	4.5
4	あまり良くなかった	0	0	0	0.0
5	良くなかった	0	1	1	0.9
	合計	52	59	111	100.0

未記入：1日目2人、2日目2人



(5) 感想

- ・ こういったパネル展をみて心がいたんだ。日本領土をみんなに知ってほしい。漁業がさかんな所だと知りました。
- ・ 北方領土が根室から3.7kmしか離れていないことを今回初めて知りました。これからは少しずつ関心を持っていこうと思いました。
- ・ 今いるロシア人の人たちにとっても古里になっているかもしれませんが、上手く折り合いをつけて、日本に返ってくるといいなと思いました。
- ・ 島民のためにもいつでも帰れるようになればと思う（心から）。
- ・ 北方領土については学生時代に聞いたことがある程度でくわしくは知らなかった。着ぐるみ人形エリオくんがいたので興味が向き、立ち寄ることができた。
- ・ 米国と戦争をしていた事実も知らない者も多い今日、北方領土が日本の固有領土であることを学校でもっとキチンと教育すべきと思います。
- ・ 福島も北海道、北方四島にゆかりがあることを知れてとても勉強になりました。子供とものはなしたいと思います。

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16（福島県総務部県民広聴室内）

TEL：024-521-7013

FAX：024-521-7934

Mail：koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター
「エリカちゃん」、「エリオくん」